

シラバスを参照したい科目をクリックしてください。

[戻る](#)

タイトル	開講所属	時間割コード	授業科目名			主担当 教員	対象年次	学期	曜日・ 校時	開講期間
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育全学 モジュール II科目-18 現代の教養	20130587038901	●現代の教養 II(ことばの 世界)	和	E	山本 建 雄	1年,2年,3年,4年	前期	火 3	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育全学 モジュール II科目-18 現代の教養	20130587039301	●現代の教養 II(人間と社 会)	和	E	永田 聖 二	1年,2年,3年,4年	後期	月 4	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育全学 モジュール II科目-18 現代の教養	20130587039701	●現代の教養 II(暮らしと 科学)	和	E	赤崎 眞 弓	1年,2年,3年,4年	前期	火 5	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育全学 モジュール II科目-18 現代の教養	20130587040101	●現代の教養 II(数と自 然)	和	E	島袋 修	1年,2年,3年,4年	後期	火 3	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育全学 モジュール II科目-18 現代の教養	20130587040501	●現代の教養 II(音楽)	和	E	宮下 茂	1年,2年,3年,4年	前期	火 4	～
2013年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育全学 モジュール II科目-18 現代の教養	20130587040901	●現代の教養 II(美術)	和	E	針貝 綾	1年,2年,3年,4年	前期	月 4	～

[戻る](#)

タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育全学モジュールII科目-18 現代の教養**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130587038901	科目番号	05870389
授業科目名	●現代の教養II(ことばの世界)		
編集担当教員	山本 建雄		
授業担当教員名(科目責任者)	山本 建雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山本 建雄		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-43		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	yamamoto@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部623		
担当教員TEL	819-2300		
担当教員オフィスアワー	月曜II		
授業のねらい	日本文化の理解を、日本語と日本語による表現の学習を通して、より広く、より深くするのが、本授業のねらいである。		
授業方法（学習指導法）	講義形式を中心に、演習形式のものを交える。		
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ○日本語について、基礎的なことを幅広く理解できる。 ○日本語の音声表現について、資料に即し、具体的な理解ができる。 ○日本語の文字表現について、資料に即し、具体的な理解ができる。 		
授業内容	回	内容	
	1	日本語の表記	
	2	日本語の文法	
	3	日本語の語彙	
	4	日本語の論理	
	5	日本語の敬語法	
	6	方言と共通語	
	7	対話と討論	
	8	話芸	
	9	歌謡曲	
	10	手紙	
	11	俳句、短歌	
	12	物語、小説	

	13	評論
	14	報道文
	15	総括
	16	試験
キーワード	日本語、表現、言語資料	
教科書・教材・参考書	毎回の資料は、そのつど担当者が用意する。	
成績評価の方法・基準等	5回程度、授業内容の応用的理解にかかわる小テストを実施する。これに加え、最終の16回目に、これまでの授業を通して学びえたことを総動員して取り組むべき課題を用意し、試験をする。	
受講要件（履修条件）	日本語と日本語の表現に興味と関心をもっていること。	
本科目の位置づけ	本授業での話題に即し、各自の日本語の理解力と表現力とを自己評価し、均衡をとりつついつそうの充実を図るきつかけを掴み、ひいては人格形成と生活力のアップにつなげる。	
学習・教育目標	上記の本授業のねらいを参照。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）	毎回の授業内容に関係した発展的な読書を希望する。お勧めの図書について、折折に紹介をする。	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育全学モジュールII科目-18 現代の教養**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130587039301	科目番号	05870393
授業科目名	●現代の教養II(人間と社会)		
編集担当教員	永田 聖二		
授業担当教員名(科目責任者)	永田 聖二		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	永田 聖二		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-41		
対象学生(クラス等)	医歯工環		
担当教員Eメールアドレス	seiji@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部 本館6F 612号室		
担当教員TEL	819-2310		
担当教員オフィスアワー	月曜V限		
授業のねらい	古典派経済学からケインズ経済学まで、さまざまな経済学説の変遷をたどることによって、資本主義経済の機構を理論的に解明する。		
授業方法(学習指導法)			
授業到達目標	古典派経済学、マルクス経済学、近代経済学など、さまざまな経済学説の資本主義経済観を把握したうえで、資本主義経済の機構を理論的に説明できる。		
授業内容	回	内容	
	1	経済学の課題と対象	
	2	流通過程と重商主義思想1	
	3	流通過程と重商主義思想2	
	4	アダム・スミスと国富	
	5	アダム・スミスと生産過程	
	6	リカードウと労働価値説	
	7	リカードウと分配の経済学	
	8	リカードウと賃金論	
	9	リカードウと地代論	
	10	マルクスと価値形態論	
	11	レオンティエフと産業連関分析1	
	12	レオンティエフと産業連関分析2	
	13	スラッフアと価格方程式1	

	14	スラッフアと価格方程式2
	15	ケインズと有効需要の原理
	16	期末試験
キーワード	スミス、リカードウ、マルクス、スラッフア、ケインズ	
教科書・教材・参考書		
成績評価の方法・基準等	期末試験100%	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ	社会科学	
学習・教育目標	資本主義経済機構の解明をつうじて社会科学的観点・考察法を身につける。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）	ベクトルや行列など、線形代数の初歩的知識があれば、理解の助けになる。	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育全学モジュールII科目-18 現代の教養**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130587039701	科目番号	05870397
授業科目名	●現代の教養II(暮らしと科学)		
編集担当教員	赤崎 眞弓		
授業担当教員名(科目責任者)	赤崎 眞弓		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	赤崎 眞弓		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-43		
対象学生(クラス等)	医学部、歯学部、工学部、環境科学部		
担当教員Eメールアドレス	akasaki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部5階 513号室		
担当教員TEL	095-819-2368		
担当教員オフィスアワー	随時 まずはメールで確認をしてください。		
授業のねらい	わたしたちの暮らしの中で生じる諸問題について考え、解決・改善する方法を見出し、今後の生活において活用していくことをねらいとする。		
授業方法(学習指導法)	講義、ディスカッション		
授業到達目標	<ol style="list-style-type: none"> わたしたちの暮らしの中で生じる諸問題を把握し、その背景や要因を考える。 諸問題を解決・改善する方法を見出す。 今後の生活に活用する。 		
授業内容	回	内容	
	1	ガイダンス わたしたちの暮らしの中で生じる諸問題の把握	
	2	働くこと(1) 女性の働き方DVDの視聴	
	3	働くこと(2) ディスカッション	
	4	働くこと(3)	
	5	衣食住に関わる日常生活(1)	
	6	衣食住に関わる日常生活(2)	
	7	衣食住に関わる日常生活(3)	
	8	衣食住に関わる日常生活(4)	
	9	衣食住に関わる日常生活(5)	
	10	学校教育と家庭(1)	
	11	学校教育と家庭(2)	
	12	学校教育と家庭(3)	

	13	学校教育と家庭（４）
	14	消費と環境（１）
	15	消費と環境（２）
	16	まとめ
キーワード	衣食住に関わる日常生活、教育、働き方、バランス、人間関係、健康、消費と環境、	
教科書・教材・参考書	資料を配布する。	
成績評価の方法・基準等	まとめのレポート（５０％）、授業参加状況（５０％）	
受講要件（履修条件）	よりよい日常生活を営みたいと考えている人に受講してほしい。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標	日常生活を改善できる力を身につける。	
備考（URL）		
備考（準備学習等）	わたしたちの暮らしの中で生じている諸問題に興味を持ち、新聞やテレビなどから積極的に情報を得ておいてほしい。	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育全学モジュールII科目-18 現代の教養**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130587040101	科目番号	05870401
授業科目名	●現代の教養II(数と自然)		
編集担当教員	島袋 修		
授業担当教員名(科目責任者)	島袋 修		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	島袋 修		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-41		
対象学生（クラス等）	H23年度以前入学者		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	教育学部棟310号室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	火曜16:10~17:10		
授業のねらい	この授業の前半では、諸問題を解きながら整数の性質を学ぶ。整数に関する問題は、実際に解こうとすると難しい問題が多いことに気づく。その背後にある理論を理解し、整数の世界の奥深さを感じてほしい。後半では、有理数、実数の世界まで考察する対象を広げ、それらの基本的性質を学ぶ。様々な不思議な性質に触れることで、数へのさらなる興味をもたれることを期待する。		
授業方法（学習指導法）	講義と演習を並行して行う。		
授業到達目標	自然数と整数について性質を理解し、証明できる。 ユークリッド互除法のしくみを理解し、具体的に問題を解けるようになる。 合同式の計算ができるようになる。 分数、少数、無理数について性質を理解し、証明できる。 連分数展開ができるようになる。		
	16回 定期試験		
	回	内容	
	1	記号について・集合	
	2	自然数と整数	
	3	素数と素因数分解	
	4	素因数分解	
	5	合同式	
	6	孫子の剰余定理	

授業内容	7	分数
	8	少数
	9	無理数
	10	実数
	11	連分数展開
	12	指数
	13	対数
	14	まとめ1
	15	まとめ2
	16	定期試験
キーワード	整数、素数、 π 、 e	
教科書・教材・参考書	教科書は指定しない。毎回の講義ノートをしっかりつくること。参考文献、図書については必要ときに随時紹介する。	
成績評価の方法・基準等	期末試験70点+平常点30点=合計100点。60点以上が合格。 平常点は随時行う小テスト、レポート、授業への貢献などをもとに評価する。	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）	各自の講義ノートをよく復習すること。 授業で扱った内容に対応した練習問題を各自で探し、解いてみること。	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育全学モジュールII科目-18 現代の教養**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130587040501	科目番号	05870405
授業科目名	●現代の教養II(音楽)		
編集担当教員	宮下 茂		
授業担当教員名(科目責任者)	宮下 茂		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	宮下 茂		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教]音1番		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	miyamo@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部 音楽棟2F 204		
担当教員TEL	819-2345		
担当教員オフィスアワー	研究室前掲示参照		
授業のねらい	モジュールIで修得した芸術の理解・表現方法に加え、音楽分野に関心のある学生に対し、声楽曲の鑑賞と実技により、深い知識や研究態度を身につけることを目的とする。		
授業方法（学習指導法）	声楽曲及びオペラ作品に関する講義と鑑賞、声楽実技に関する講義と実技（歌唱）を行う。声楽実技では、独唱を行うこともある。		
授業到達目標	モジュールIで身につけた、芸術の理解・表現を深めること。		
授業内容	回	内容	
	1	季節の歌～春I＋歌唱法入門1（発声の理論と実践）	
	2	季節の歌～春II＋歌唱法入門2（発声の理論と実践）	
	3	歌曲の歴史I～導入～日本の歌曲（西洋音楽）の歴史①＋歌唱法入門3（発声の理論と実践）	
	4	歌曲の歴史II～日本の歌曲（西洋音楽）の歴史②＋歌唱法入門4（発声の理論と実践）	
	5	詩と音楽の出会いI～ドイツ歌曲の歴史＋歌唱法入門5（発声の理論と実践）	
	6	歌、歌曲、オペラ、声楽…声楽ジャンルについてI＋歌唱法入門6（発声の理論と実践）	
	7	歌、歌曲、オペラ、声楽…声楽ジャンルについてII＋歌唱法入門7（発声の理論と実践）	
	8	詩と音楽の出会いII～ドイツ語と音楽＋歌唱法入門8（発声の理論と実践）	
	9	詩と音楽の出会いIII～詩と音楽＋歌唱法入門9（発声の理論と実践）	
	10	文学的意味と音楽的表現I～言葉と旋律について＋歌唱法入門10（発声の理論と実践）	
11	文学的意味と音楽的表現II～音楽的手法の意味について①＋歌唱法入門11（発声の理論		

	と実践)
	12 文学的意味と音楽的表現Ⅲ～音楽的手法の意味について②+歌唱法入門12 (発声の理論と実践)
	13 文学的意味と音楽的表現Ⅳ～音楽的手法の意味について③+歌唱法入門13 (発声の理論と実践)
	14 ロマン派～「さすらい」について+歌唱法入門14 (発声の理論と実践)
	15 音楽から見た「世界の言葉」と「学べる喜び」+歌唱法入門15 (発声の理論と実践)
	16 全授業の総括
キーワード	声乐、オペラ
教科書・教材・参考書	授業計画に沿い、資料を配布する。音楽の視聴はCD、DVD、生演奏(歌唱とピアノ伴奏)を活用する。
成績評価の方法・基準等	毎回提出の授業レポートの評価(90%)、歌唱(独唱)の実技試験(10%)
受講要件(履修条件)	教室の座席定員(音楽棟1番教室)が36名のため、最大受講者数を36名とする。定員を超えた場合は、Nu-Webでの電子抽選を使用し、教養教育掲示板に結果を公表する。(指導教員への直談判無効)
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



タイトル「**2013年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育全学モジュールII科目-18 現代の教養**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20130587040901	科目番号	05870409
授業科目名	●現代の教養II(美術)		
編集担当教員	針貝 綾		
授業担当教員名(科目責任者)	針貝 綾		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	針貝 綾		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-43		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	aharikai@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部美術棟		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	火4校時		
授業のねらい	ルネサンス時代の巨匠たちの絵画・彫刻作品の鑑賞を通して、美術に対する関心と理解を深める。		
授業方法（学習指導法）	視覚教材を参照しながら作品を記述し、モチーフの意味や表現技法、作者の制作意図、社会的背景等から作品を多角的に分析・解釈することにより鑑賞の手法を学ぶ。		
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・美術作品を観察し、客観的に記述できる。 ・美術作品の記述に基づき、作品を分析することができる。 ・美術史の基礎的な知識である、様式や美術家、表現技法等について説明できる。 		
授業内容	イタリア・ルネサンスと北方ルネサンスの代表的な画家や彫刻家たちの名作を取り上げ、作品の記述・分析・解釈を行い、解説を加える。		
	回	内容	
	1	イタリア初期ルネサンス絵画―マザッチオと遠近法の成立	
	2	イタリア初期ルネサンス絵画―修道画家フラ・アンジェリコ	
	3	イタリア初期ルネサンス絵画―修道画家フラ・アンジェリコ	
	4	イタリア初期ルネサンス絵画―ボッティチェリの寓意画《春》	
	5	イタリア初期ルネサンス絵画―ボッティチェリ《ヴィーナスの誕生》	
	6	イタリア盛期ルネサンス絵画―ダ・ヴィンチの様々な仕事と《モナ・リザ》	
	7	イタリア盛期ルネサンス絵画―ダ・ヴィンチ《最後の晩餐》の解釈試み	
	8	イタリア盛期ルネサンス彫刻―ミケランジェロ《ダヴィデ》と《ピエタ》	
	9	イタリア盛期ルネサンス絵画―ミケランジェロの墓碑彫刻	
10	イタリア盛期ルネサンス絵画―ミケランジェロ「システィナ礼拝堂天井画」		

	11	イタリア盛期ルネサンス絵画ーラファエロ《アテネの学堂》
	12	北方ルネサンスーデューラーの『人体均衡論』と自画像
	13	北方ルネサンスーデューラーの銅版画《メランコリアI》
	14	北方ルネサンスーホルバインの肖像画1
	15	北方ルネサンスーホルバインの肖像画2
	16	試験
キーワード	西洋美術史、ルネサンス	
教科書・教材・参考書	高階秀爾『西洋美術史』美術出版社	
成績評価の方法・基準等	授業への積極的参加状況（30%）、授業内の小論文（10%）、定期試験（60%）により総合的に評価する。	
受講要件（履修条件）		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考（URL）		
備考（準備学習等）	日頃から美術館や博物館に足を運び、実作品を見て楽しむなど、美術に親しむ機会を作って欲しい。	

